

法蔵館書店ニュース 3月

目次

話題の本	P1	特集1:法然上人	P16~17
法蔵館新刊案内	P2~7	特集2:「しんらんさまの絵本・DVD」	P18
法蔵館刊行予定案内	P7~8	お知らせ	P19
法蔵館書店新着案内	P9~15	法蔵館書店ベスト10・メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★ 3、4月の書店休業日

3月のお休み: 3日・10日・17日・24日・31日

4月のお休み: 7日・14日・21日・28日

話題の本

- 山陽新聞(2024/2/11)、●沖縄タイムス[朝刊](2024/2/3)
- 京都新聞[朝刊](2024/1/29)ほか各地方紙掲載!
- 『ためさるる日ー井上正子日記1918ー1922』
- 井上正子著、井上 迅編・四六判・464頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-7759-8



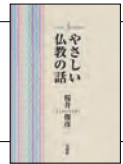
- 日本歴史 2月号(2024/2/1)
- 『近代日本の国家と浄土真宗 2刷』
- ー戦争・ナショナリズム・ジェンダーー
- 福島栄寿著・A5判・294頁・4,180円・ISBN:978-4-8318-5569-5



- 読売新聞[朝刊:奈良県版](2024/1/31)
- 『古墳と壁画の考古学ーキトラ・高松塚古墳』
- 泉 武・長谷川透著・四六判・234頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7769-7



- 佛教タイムス(2024/1/25)
- 【心に響く3分間法話】『やさしい仏教の話』
- 桜井俊彦著・四六判・96頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8979-9



- 中外日報(2024/1/19)
- 『宗教を問う、宗教は問うーコルモスの歴史と現代』
- 氣多雅子・島蘭 進・金澤 豊・小林 敬編・四六判・384頁・2,200円
- ISBN:978-4-8318-7774-1



祝
受賞!

『精神世界のゆくえ』、『ポストモダンの新宗教』(法蔵館刊)の著者、**島蘭 進**先生が、

2023年度朝日賞を受賞されました。

『近代日本の仏教と福祉ー公共性と社会倫理の視点から』(法蔵館刊)の著者、**井川祐覚**先生が、

第25回 SOMPO福祉財団奨励賞を受賞されました。

※詳しくは19ページ

◆岡山県新見の伝説

【歴史／説話文学】

——玄賓僧都・後醍醐天皇・金売吉次・人柱

原田信之著・A5判・232頁・2,640円・ISBN:978-4-8318-6284-6

新見に伝わる興味深い伝説の中から、全国的に知られる玄賓僧都・後醍醐天皇・金売吉次・人柱の四つを選び、伝承の実態と魅力を味わう。

■目次

口絵

序章 新見の伝説の魅力と意味

◆玄賓僧都伝説編

◆後醍醐天皇伝説編

◆金売吉次伝説編

◆人柱伝説編 ほか

ためし読み



◆読んで観て聴く 近代日本の仏教文化

【仏教／近代】

[大正大学総合仏教研究所叢書38]

森 寛・大澤絢子編・四六判・400頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-5584-8

新旧のメディアを介して日常の様々な場に現れ、広く人々に共有された「信じる」「学ぶ」「楽しむ」が絡み合う仏教文化の諸相を捉える。

■目次

はじめに(森 寛)

I 読む

第一章 「悪人」芸芸法眼の江戸と明治(塩谷菊美)

第二章 説経節の受容と音読・黙読(今井秀和)

第三章 明治一五年の草双紙『開化地獄論』(森 寛)

第四章 露伴文学と仏教(渡辺賢治) ほか

ためし読み



◆近代教育学と浄土真宗

【真宗／教育】

——人間・教育・宗教の根本問題を問う
浄土真宗的教育人間学

川村寛昭著・A5判・301頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-5582-4

近代教育学の功罪を指摘し、大乘精神を具体化する親鸞の浄土真宗の立場から、浄土真宗的教育人間学の体系化を目指す。

■目次

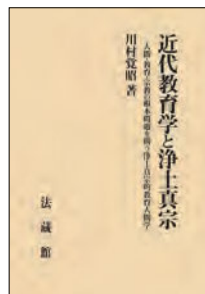
I 序説 現代と浄土教

II 現代人間学と仏教教育

III 近代教育学と親鸞思想

IV 浄土真宗と人間形成 ほか

ためし読み



◆雲岡石窟造営思想論 ——最盛期第二期諸窟を中心として

【仏教美術／中国美術】

八木春生著・B5判・514頁・22,000円・ISBN:978-4-8318-6332-4

皇帝=如来という理念に基づいて造営された雲岡石窟。その第二期諸窟の全てについて詳しい分析を行い、根底に流れる思想を読み解く。

■目次

カラー口絵

はじめに

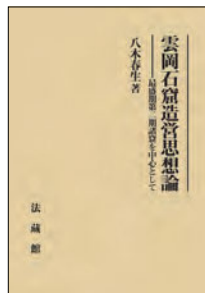
第一部 二聖のための双窟造営

第二部 組窟造営による転換期

第三部 孝文帝のための造営

第四部 まとめ及び結論 ほか

ためし読み



◆中国道教像研究

【道教／中国美術】

齋藤龍一著・B5判・294頁・11,000円・ISBN:978-4-8318-6333-1

知られざる道教像の全貌を、時代性という縦軸と地域性という横軸をもとに、仏像との関連性を踏まえ、多くの図版を示しながら解明。

■目次

カラー口絵

第一章 序論

第二章 陝西「酈県様式」仏像・道教像

第三章 維摩像と道教像の影響関係と地域性

第四章 道教像の地域性

第五章 仏像・道教像の地域間交流論

第六章 道教像の展開と地域性 ほか

ためし読み



◆近現代日本における日蓮信仰

【仏教／思想史】

[立正大学大学院文学研究科研究叢書]

三輪是法著・A5判・548頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-5583-1

日蓮信仰者として知られる宗教者・知識人・軍人・社会活動家らの言説から、日蓮の思想や生涯が信仰者の心理に与えた影響を考察する。

■目次

第一章 近代初頭の日蓮信仰

第二章 近代における日蓮仏教と田中智学

第三章 知識人にみる日蓮信仰

第四章 軍人にみる日蓮蓮信仰

第五章 教育者・社会活動家にみる日蓮信仰

第六章 近現代日本における日蓮信仰と久遠の生命論 ほか

ためし読み



◆大瀛『横超直道金剛鐱』の意識と翻刻(一)

[龍谷大学仏教文化研究叢書47]

【仏教／真宗】

三業惑乱研究会著・A5判・268頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-7935-6

本願寺史上最大の法論事件「三業惑乱」を終結に導いた、親鸞聖人から連綿と伝わる正しい法義とは何かを明かした著作を初めて読解!

■目次

まえがき(三業惑乱研究会代表 殿内 恒)

横超直道金剛鐱 巻上

序 文

第一節 客の激励

第二節 大瀛の奮起

第一章 欲生正因説批判 ほか

ためし読み



◆仏教儀礼の音曲のことは——中世の〈声〉を聴く

柴 佳世乃著・A5判・784頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-6283-9

【仏教／芸能】

法華経読誦は後白河院の時代を画期に芸道化し、書写山圓教寺で花開いた。読経音曲や如意輪講式など、今は途絶えた儀礼の声に迫る。

■目次

序論

論考編

第一部 中世の〈声〉

第二部 読経の音曲とことは

第三部 唱導の音曲とことは

資料編

読経関連資料 ほか

ためし読み



◆貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究

——「別要」教理篇・上 解説・索引

【仏教／法相】

楠 淳證編・A5判・224頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7775-8

貞慶の代表作『尋思別要』の翻刻・訓読・語註・解説を掲載する翻刻読解研究書。その上巻の語彙索引と論義テーマの略解説。

■目次

序辞

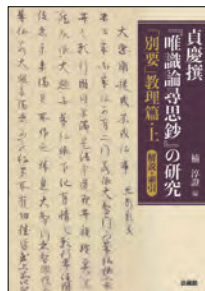
第一章 種姓段

第二章 縁起段

第三章 総標段・賢聖段

第四章 教体段 ほか

ためし読み



◆章安灌頂の研究

【仏教／天台】

村上明也著・A5判・576頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-7777-2

智顗の門人であり、吉蔵とも交流を持った灌頂。厳密な文献学に基づきながら、灌頂の教学や後世への影響を明らかにした総合的研究。

■目次

序言 龍谷大学名誉教授 浅田 正博

凡例

研究の視座とその方法

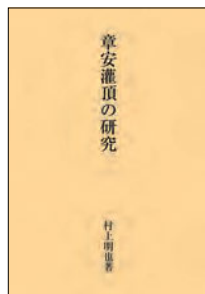
第一部 灌頂の行状と智顗「維摩經疏」の資料的価値をめぐる諸問題

第二部 智顗の門人としての灌頂

第三部 南北朝・隋代の中国仏教と灌頂

第四部 灌頂が与えた後世への影響 ほか

ためし読み



◆歌合の本質と展開——中世・近世から近代へ【日本文学／和歌】

【龍谷大学仏教文化研究叢書48】

安井重雄編・A5判・352頁・6,050円・ISBN:978-4-8318-7776-5

歌合の空間、判詞、陳状をめぐる問題。集積と出版。歌合の終焉。近世・近代の歌合。古筆切。歌合の諸相を論じて本質を明らかにする。

■目次

まえがき

第Ⅰ部 中世初期における歌合の相貌

治承二年廿二番歌合の性格[中村 文]

六百番歌合と顕昭[鈴木徳男]

後鳥羽院歌壇における歌合判者と判詞執筆者[安井重雄]

承久元年内裏百番歌合小考[日比野浩信]

第Ⅱ部 近世における歌合の展開、そして近代へ ほか

ためし読み



◆選択集の成立と展開

【仏教／仏教学】

——廬山寺本を中心に

春本龍彬著・A5判・926頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-6073-6

新出資料を交え、現存最古の「廬山寺本」の書誌と推敲跡、さらに他本との関係を検討し、成立過程と展開の全容を多角的に考察。

■目次

序 論

第一章 廬山寺蔵『選択集』の書誌

第二章 廬山寺蔵『選択集』における推敲跡

第三章 廬山寺蔵『選択集』と他本の関係 ほか

ためし読み



◆源隆国編『安養集』の研究

【仏教／浄土教】

梯 信曉著・A5判・926頁・17,600円・ISBN:978-4-8318-7929-5

浄土経教理学の諸問題を網羅した源隆国編『安養集』全10巻の書下しに、現代語訳・語註・考察を付した、浄土教研究者必備の書。

■目次

安養集巻第一

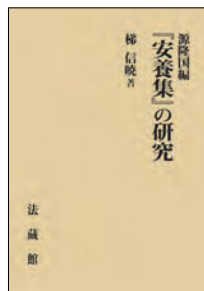
巻一本

1厭離穢土 2欣求浄土 3十方仏証明 4極楽兜

率優劣難易 5兜率極楽相對 6極楽十方相對卷

一末 7諸法門中偏勸念仏三昧 8念仏方法 ほか

ためし読み



◆日本天台における根本思想の展開

【仏教／天台】

大久保良峻著・A5判・471頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-6280-8

最澄から円仁、安然へと継承・展開される台密教学、さらに中世の天台法門において最澄説が様々に導入されていることを明らかにする。

■目次

はしがき

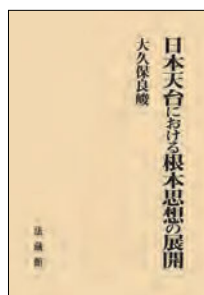
I 思想基盤の樹立と展開

II 基本思想の解明

III 現実肯定思想に関する諸問題

IV 安然説の基礎的研究 ほか

ためし読み



法蔵館刊行予定案内

〈2024年4月 刊行予定〉

◆新装版 親鸞のコスモロジー

大峯 顕著・四六判・232頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6700-1

【仏教／真宗】

念仏とは宇宙に法則に従うことである——浄土教のダイナミックなコスモロジーを哲学の視点から描き出し、概念化された親鸞像の再構築を図る。

◆よもやま歴史風土記

——琵琶湖水系三都と諸国の「問故知新」

本郷真紹著・四六判・予208頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-6282-2

【日本史】

近江・山城・摂津と周辺諸地域に伝わる歴史に関する逸話を、古代史のプロが紹介。各地の魅力と共に、「古きを問ひ、新しきを知る」という歴史を学ぶ醍醐味を伝える！

◆清水寺 成就院日記 第八卷

清水寺史編纂委員会編・A5判・416頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-5158-1 【日本史／仏教】

京都・清水寺の門前町の行政を記録した江戸時代の公用日記。第八巻は明和元年（一七六四）～明和七年（一七七〇）を収録。

◆新発見書簡で読み解く 軍医森鷗外

——後輩軍医佐藤恒丸に問う海外情勢

石川 肇・林 正子・松田利彦編・A5判・予284頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-6285-3 【文学】

鷗外没後100年の大発見。明治36年～大正7年、陸軍軍医総監・陸軍省医務局長時代の書簡29通を翻刻。鷗外「豊熟の時代」のもう一面とは。関係作品収載。

◆九州真宗の社会と文化

〔筑紫女学園大学人間文化研究所叢書〕

【日本史／真宗】

中川正法・小林知美・岡村喜史編・A5判・予628頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-7928-8

地域における教化伝道の拠点であり、地域文化財の収集・保存や地域社会の課題に取り組んできた北部九州寺院の歩みと幕末・明治期の活動を、新出史料等から解明する。

◆天王寺舞楽

小野真龍著・四六判・288頁・2,640円・ISBN:978-4-8318-6286-0

【仏教／芸能】

大阪・四天王寺に伝承される「もう一つの、ほんとうの雅楽」（東儀俊美）。聖徳太子の願いのこもった菩薩道としての舞楽の歴史をひもとく。

◆曇鸞『浄土論註』の新研究

——真宗理解の再構築のために

市野智行編・A5判・326頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-7781-9

【真宗学】

親鸞が真宗の大綱として掲げる二種回向。その源泉である曇鸞『浄土論註』を改めて読み直し、真宗理解の再構築を目指す。多様に論じられてきた親鸞思想解明の挑戦的新研究。

とくさ

◆木賊

熊谷博人著・B5判・32頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-5653-1

【仏教／絵本】

祇園祭の山鉦「木賊山」が題材とした謡曲「木賊」を翻案した絵本。信濃国園原（現・長野県阿智村）を舞台に、老父が、僧侶となった行方不明の息子と再会するお話。

◆豹軒詩遺稿

鈴木虎雄著・A5判・528頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-3735-6

【漢詩／漢字学】

中国文学研究の大家であり、優れた漢詩人でもあった鈴木虎雄が晩年に詠じた漢詩集。近代漢詩人研究としても貴重な資料。

法蔵館書店新着案内

講談社学術文庫 2801

◆インド思想史

中村 元著・文庫判・331頁・1,353 円〈講談社〉

「リグ・ヴェーダ」からウパニシャッド、ジャイナ教、仏教、ヒンドゥー教、ガンジーまで、数多の深遠な思想を生み出してきたインド。時代背景を踏まえつつ各思想の特質を明らかにし、3000年超の道程を描き出す。

■目次

- 第一章 アーリヤ人の侵入とリグ・ヴェーダの宗教
- 第二章 農村社会の確立とバラモン教
- 第三章 都市の興隆と自由な思索の出現
- 第四章 国家統一と諸宗教の変動 ほか



講談社現代新書 2733

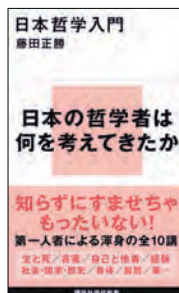
◆日本哲学入門

藤田正勝著・新書判・276頁・1,100円〈講談社〉

西洋哲学と出会って150年、日本の哲学者たちは何を考え、何を目指してきたのか。日本哲学のオリジナリティに迫る、第一人者による入門書の決定版。

■目次

- | | |
|---------------|--------------|
| 第1講 「日本の哲学」とは | 第5講 自己と他者 |
| 第2講 哲学の受容 | 第6講 身体 |
| 第3講 経験 | 第7講 社会・国家・歴史 |
| 第4講 言葉 | 第8講 自然 ほか |



マイナビ新書

◆宗教戦争で世界を読む

島田 裕巳著・新書判・223頁・1,199円〈マイナビ出版〉

人類は戦争をくり返してきたが、そこに宗教が絡むと事態はより複雑なものになる。十字軍遠征から三十年戦争、フランス革命、インド・パキスタン戦争、ウクライナ事変まで、世界の変革・激動を宗教戦争の視点から読み解く。

■目次

- 第1章 世界宗教が民族宗教を駆逐する
- 第2章 十字軍-キリスト教とイスラム教の宗教戦争
- 第3章 ヨーロッパの宗教戦争
- 第4章 聖戦という考え方の誕生と変遷
- 第5章 帝国と国民国家における宗教とその対立



角川ソフィア文庫 H107-4

◆道元『正法眼蔵』を読む

角田泰隆著・文庫判・302頁・1,320円〈KADOKAWA〉

曹洞宗の開祖・道元。座禅や生活作法、世界や時間や人間のとらえ方などの思想を凝縮して伝えるのが『正法眼蔵』だ。難解で長大な原文の要点をわかりやすく解説。初学者に禅の精神をやさしく伝える。

■目次

『正法眼蔵』とは何か

多様性を認める―「現成公案」の巻

存在と時間―「有時」の巻

全世界は心―「三界唯心」の巻 ほか



角川新書 K-442

◆禅と念仏

平岡 聡著・新書判・238頁・1,012円〈KADOKAWA〉

悟りか、救いか——。同じ仏教でも目指す最終到達点が異なるため、対極に見えるふたつの行。それぞれの歴史と、社会、美術と芸能、政治に与えた影響を明らかにしながら、日本仏教の独自性に迫る! 8つの視点から徹底検証。比べてわかる日本仏教の面白さ。

■目次

第一章 本家 vs. 分家——禅と念仏の源

第二章 保守 vs. 革新——歴史的な変遷

第三章 出家 vs. 在家——実践の難易度

第四章 悟り vs. 救い——宗教的ゴール ほか



◆はじめての人におくる般若心経

横田南嶺著・四六判・250頁・2,200円〈春秋社〉

類い希な実践知と専門知に支えられた、珠玉の『般若心経』講義。般若心経を貫く「空」の思想を、一千年の仏教の歴史も踏まえつつ、多彩で身近な切り口からやさしく説く。現代の生きづらさや苦しみにも寄り添い、「変わりゆく」ことの積極的な意味を伝える。

■目次

第1講 世界は変わる——無常・無我

第2講 とらわれない心——五蘊皆空

第3講 なにもない人の豊かさ——色即是空

第4講 宇宙よりも広い心——是諸法空相 ほか



歴史文化ライブラリー583

◆おみくじの歴史——神仏のお告げはなぜ詩歌なのか

平野多恵著・四六判・272頁・2,090円〈吉川弘文館〉

初詣で運勢を占うおみくじ。おみくじはいつから存在し、誰がつくり、なぜ和歌や漢詩が書いてあるのか。おみくじに関する文献を収集・分析。謎多きルーツを辿り、日本の社寺の風俗として定着した魅力に迫る。現代の漢詩みくじ、和歌みくじも紹介する。

■目次

おみくじの謎—プロローグ
おみくじのルーツ 神仏のお告げ
和歌で占う ひろがりと変化
おみくじ今昔 ほか



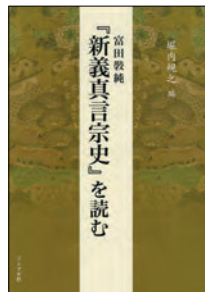
◆富田敦純『新義真言宗史』を読む

堀内規之編・A5判・258頁・4,950円〈ノンブル社〉

覚鑊以前の真言宗の成り立ちから明治期の新義派分離までの歴史が簡潔にまとめられた本文に加え、豊山・智山両派の列祖略伝、著作目録、名刹の世代表などが記された原書版附録もあまさず収録。編者がまとめた原著者の事績は学僧として名高い富田敦純の人間味をも浮き彫りにする。

■目次

第一章 序論
第二章 太祖興教大師以前の真言宗
第三章 太祖興教大師御伝
第四章 高野山時代 ほか



◆比叡山延暦寺の神さま 仏さま

——地元ガイドが作った参拝ハンドブック

武 覚超監修・A5判・132頁・2,420円〈サンライズ出版〉

比叡山全域を境内とする延暦寺。延暦寺発祥の地「東塔」、回峰行の本拠地「無動寺谷」、釈迦堂を中心とした「西塔」、延暦寺最北の地「横川」の4エリアに分けて、150にも及ぶ堂舎や旧跡、本尊などを写真とともに紹介する。

■目次

■第1章 最澄と比叡山
■第2章 東塔エリア
■第3章 無動寺谷エリア
■第4章 西塔エリア ほか



◆関東にあるお寺と仏像

高山雄輔著・四六判・160頁・1,540円〈ブイツーソリューション〉

関東にあるお寺と仏像。きっと、あなたも会いに行きたくなる。

■目次

八王子市一龍見寺、極楽寺
横須賀市一横須賀美術館と三浦氏ゆかりの寺院
静岡県一北條寺、かなみ仏の里美術館
鎌倉市一円覚寺、東慶寺、浄智寺と建長寺
日野市一金剛寺、安養寺
横浜市一遍照寺、證菩提寺、寶生寺と神奈川県歴史博物館
川崎市一影向寺、稲城市 常楽寺、妙見寺と高勝寺
栃木県一足利市立美術館と饒阿寺、足利学校
横浜市一弘明寺、金沢文庫と称名寺、真照寺 ほか



◆寺社の龍彫刻——全国版・宮彫コレクション

若林 純著・B5判・223頁・5,500円〈日貿出版社〉

古から人々に親しまれ、敬われ、畏れられてきた龍。寺社建築においては江戸期に花開いた彫刻「宮彫(みやぼり)」の名作が数多く残されている。本書では全国260寺社で撮影した様々な龍彫刻を、22の意匠別に紹介する。

■目次

はじめに 一撮影を終えて
日本の龍・宮彫の龍
海老虹梁／中備／柱／縁下隅持送り／花頭窓／桁隠し／懸魚／腰羽目／妻飾り／持送り／手挟／小脇板／天井／須弥壇／胴羽目／虹梁浮彫／扉／尾垂木／木鼻／欄間／臺股／脇障子
掲載寺社一覧



◆世界遺産 韓国の山寺

——テンプルステイで知る日本仏教との違い

宋 寛著・四六判・138頁・1,540円〈社会評論社〉

世界遺産に登録されている海印寺、仏国寺ほか9寺や、特色ある山寺を歩いた紀行文。「悟りとはなにか」といった難しい議論はさておいて、テンプルステイめぐりを重ねるうちに、「清掃は己の心を磨く」「合掌しながら感謝する」といった初歩的な心もちを素直にあらわすようになった気持ちから綴る。

■目次

第1章 世界遺産Ⅰ 2018年に指定された7寺院
第2章 世界遺産Ⅱ 韓国人の精神的支柱
第3章 特徴のある「9寺院」



◆31の味わい お寺の掲示板

真宗大谷派宗務所出版部編・文庫判・207頁・935円〈東本願寺出版〉

仏さまの教えをひと言で表した法語と、そのころを僧侶（おぼうさん）が短くやさしい文章で語ったお話を集めた31篇の法話集。ふと、お寺の掲示板の前に足を止め隣の人と語らうように、心に響く言葉と出会い、味わい、何度でも読みたくなる一冊。

著者一覧

石川正生・一楽典次・乾文雄・犬飼祐三子・上本賀代子・梅原慶子・大窪康充・海法龍・梶原敬一・菊地祐恭・佐賀枝弘子・高橋和・高山耕・武田定光・霞見美智子・中川皓三郎・中島善亮・藤井恭子・藤井善隆・藤谷純子・藤原俊・保々眞量・マイケル・コウエイ・松井恵光・松見由美子・三池眞弓・蓑輪秀邦・山田恵文・米澤典之・両瀬渉・和田稠



◆生きることは死ぬこと

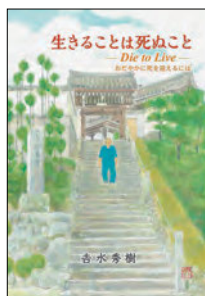
——おだやかに死を迎えるには

吉水秀樹著・A5判・85頁・1,100円〈方丈堂出版〉

お釈迦様が説かれたことをまさにわが身のこととして理解し、人生に活かす道を示してくれる。まだまだ死は遠いと思っている方にも、もうそろそろかなと思い始めている方にも、ぜひ読んでほしい。あなたの人生をまっとうするために。（表紙より）

■目次

- 第一章 死ぬこと
- 第二章 人は死ぬ
- 第三章 明るく生きるに



◆希望のお墓 お骨仏

——お骨仏と自分の戒名で終活の悩みを一挙解決

三浦尊明著・四六判・208頁・1,870円〈青娥書房〉

あなたがもし亡くなったら、どんなお墓に入りたいですか？「お骨仏（おこつぼとけ）」とは、たくさんの方の遺骨でもって仏像を作り、お寺の本堂で供養し続けていくやり方です。お墓に眠るという考え方でなく、自らのお骨が仏様となって、皆さんのお役に立てる「希望のお墓」です。いま俄然注目、多くの方に求められている供養のお墓です。戒名の付け方、葬送の選択の仕方なども詳しく解説！

■目次

希望のお墓「お骨仏（こつぼとけ）」

私のお墓が無い/終活で困る「お墓の問題/弁護士や行政書士・会計士に相談しましょう
お墓の問題/お墓っていったい何でしょう？ ほか



◆平安貴族の和歌に込めた思い

——菅原道真・藤原道長・紫式部・清少納言・
白河天皇・源頼政・慈円・土御門通親

今井雅晴著・B6判・171頁・1,980円〈自照社〉

『鎌倉時代の和歌に託した心』シリーズの続編。『源氏物語』の紫式部、『枕草子』の清少納言、菅原道真ら平安貴族8人の心の機微に迫る。藤原道長「このよをば」の歌の本当の意味とは？

■目次

- 1 菅原道真—政界に進出して失敗した大学者—
- 2 藤原道長—「満月の和歌」の真の政治的意図—
- 3 紫式部—『源氏物語』の作者の思い—
- 4 清少納言—『枕草子』と苦しかった経済生活— ほか



朝日新書938

◆藤原道長と紫式部——「貴族道」と「女房」の平安王朝

関 幸彦著・新書判・233頁・935円〈朝日新聞出版〉

摂関政治の最高権力者・道長と王朝文学の第一人者・紫式部を中心に日本史上最長400年の平安時代の真実に迫る！ NHK大河ドラマ「光る君へ」を読み解くための必読書。

■目次

- 序 謡曲『源氏供養』を考える—いま一度の光源氏
- 1 王朝時代の諸相—内と外
 - 2 藤原道長の章
 - 3 紫式部の章
 - 4 再びの王朝時代の諸相—都と鄙



◆THE TALE OF GENJI AND KYOTO

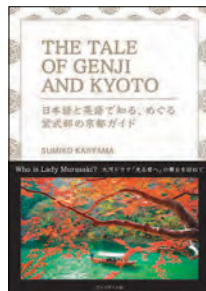
——日本語と英語で知る、めぐる紫式部の京都ガイド

SUMIKO KAJIYAMA著・A5判・141頁・1,870円〈プレジデント社〉

『源氏物語』の世界を英語でご紹介！『源氏物語』ゆかりの地巡りのお供に、訪日外国人向けガイドの参考書として「旅行、留学、出張先で日本の文化や歴史を説明したい。」そんな時、本書がお役に立つと思います。

■目次

- ・源氏物語と京都御所
- ・源氏物語とは
- ・平安神宮と葵祭
- ・源氏物語「宇治十帖」と宇治
- ・紫式部と『源氏物語』ゆかりの地と見どころ



◆筋肉坊主のアフリカ仏教化計画

石川コフィ著・四六判・260頁・1,980円(春秋社)

まともな職歴もない高卒はほぼ無職の男性が一流商社の支社長代行として危険な軍事独裁政権末期のナイジェリアに赴任した2年間の話。

■目次

- 第1章 アフリカイベントからお寺へ
- 第2章 日本からアフリカへ
- 第3章 フリーターから商社マンへ
- 第4章 平和な日常から混沌の世界へ
- 第5章 軍事独裁政権から民主主義国家へ
- 第6章 アフリカから日本へ



◆〈寝た子〉なんているの？

——見えづらい部落差別と私の日常

上川多美著・四六判・287頁・2,640円(里山社)

「差別はもうない。〈寝た子〉を起こすな」と言われがちな部落問題。東京生まれの部落ルーツ、シングルマザーの著者は子どもやママ友に〈部落〉をどう伝える!?

■目次

- 1「部落解放運動」の家に生まれて
- 2〈部落〉を子どもにどう伝える？



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 3月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー 一乗ひかるさん(イラストレーター)
いろんな人がいるのだから、いろんな人を描きたい。
- ◎特集 ムダを愛する
【対談】辻 信一×深草教子
「役に立つ」を超える生き方とは。
- 連載
唯信鈔文意を読む——唯念仏のころ……山田恵文
あなたのとなりの僧侶 ほか

◆大乘 3月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・ご機言！お寺の掲示板……………江田智昭
- ・和のころ 親鸞聖人のご和讃……………玉木興慈
- ・親鸞聖人いままずは
「国籍の垣根を越えて」……………清藤隆春
- ・大乘 ほうわ・HOWA・法話
「レコード」……………花田照夫 ほか

特集1

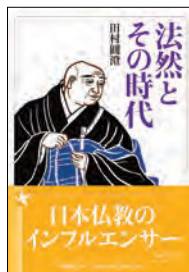
法然上人

今年は、浄土宗開宗850年を迎える記念すべき年です。
浄土宗の宗祖・法然上人についての書籍をご紹介します。

◆法然とその時代 法蔵館文庫

田村圓澄著・坪井 剛解説・文庫判・256頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-2655-8

否定を媒介とする法然の廻心を基軸に、人間の魂の遍歴を普遍化することで、歴史研究の成果を「人間」理解一般にまで昇華させた労作。
(法蔵館)



◆法然の生涯

高橋良和著・A5判・88頁・660円・ISBN:978-4-8318-2304-5

日本浄土教の開祖法然は、持戒堅固の清僧でもあった。
法然の人物像を、児童文学者のやさしい筆致で描く。
(法蔵館)



◆絵伝にみる 法然上人の生涯

中井真孝著・A5判・206頁・2,530円・ISBN:978-4-8318-6056-9

国宝『法然上人行状絵図』（知恩院蔵）から法然上人の波乱の生涯をたどる、入門に最適な一冊。
(法蔵館)



◆法然と大乘仏教

平岡 聡著・四六判・212頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6067-5

法然の教えを糾弾した『興福寺奏状』を、仏教学の視点から読み解き、法然の説いた仏教の独自性・普遍性を解明。
(法蔵館)



◆人物叢書 法然 (新装版)

田村圓澄著・四六判・269頁・2,200円〈吉川弘文館〉

南都北嶺の反対にめげず専修念仏をもって始めて浄土宗を開く。弾圧下信念に生き抜いた高僧の伝。



◆法然上人のご法語

1 消息編／2 法語類編／3 対話編／4 伝語・制誡編

浄土宗総合研究所編訳・文庫判・①201頁／②278頁／③337頁／④312頁
各1,100円〈浄土宗出版〉

宗祖法然上人が説かれた「誰もが憂いなく生きるための道」お念仏。『法然上人のご法語』シリーズでは、その教えを人々に伝えられたご法語を現代語訳とともに収載。



◆法然を生きる

ひろさちや著・四六判・205頁・1,650円〈佼成出版社〉

法然上人の生涯と思想を紹介しながら、その生き方や考え方が現代に生きる私たちにどのような示唆を与えてくれるのかを解明する。「いかにして仏教を人生に活かすか」を長年探究してきた著者の思索の集大成。



◆法然上人二十五霊場への誘い

山本博子著・四六判・236頁・1,980円〈東方出版〉

江戸時代から約250年、連綿と続く法然上人二十五霊場。霊場巡拝に関わる様々な事柄を解説。寺院風景・御影の刷物・御朱印など写真95点を収録。



特集2 「しんらんさまの 絵本・DVD」

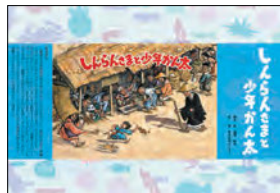
お子様が楽しみながら親鸞聖人について学べる、紙芝居や書籍、DVDをご紹介します。

◆【紙芝居】

しんらんさまと少年かん太

諸橋精光作／絵・青少幼年センター監修
縦265mm×横380mm・17枚・1,980円

店のものをぬすんだ少年かん太と出会った親鸞聖人は、一人ぼっちのかん太の心を知って涙を流します。親鸞聖人が話す阿弥陀さまのところで、少年かん太と心を通わせる物語。 〈東本願寺出版〉



◆しんらんさまみ～つけたっ!

ひがしはらかつえ絵・縦304mm×横230mm・26頁・1,650円〈東本願寺出版〉

しんらんさま(親鸞聖人)のご生涯の出来事を8つの絵で紹介するさがしもの絵本です。細かく描きこまれた絵の中から、しんらんさまや法然さまを繰り返しさがすことをとおして、親鸞聖人のご生涯を楽しく学ぶことができます。また、しんらんさまのほかにもたくさんの動物やキャラクターを探すコーナーが設けられているなど、家族みんなで楽しめるしかげがいっぱいです！ 〈東本願寺出版〉

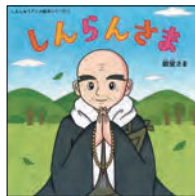


しんしゅうアニメ絵本シリーズ①

◆しんらんさま

林 佳里絵／デザイン・田中章生編・縦190mm×横190mm・32頁・660円

親しみやすいイラストとやさしい言葉を用いて、浄土真宗の宗祖「しんらんさま(親鸞聖人)」のご生涯を伝える絵本。しんらんさまがどのような生涯を送られたのか、お子さまにもわかりやすく読んでいただけます。しんらんさまの生涯を書いた年表も収載。 〈東本願寺出版〉



◆アニメでふれる DVD しんらんさまの問いかけ

四衢 亮監修・DVD(収録:120分)・3,850円

子どもたちを主人公としたお話が親鸞聖人のエピソードを交えて展開される短編アニメーションを12話収録したDVD。友情・恋・生き方等、さまざまなことに悩み葛藤する子どもたちが、親鸞聖人の生き方にふれることで、次第にその葛藤に向き合っていく。身近な話題から親鸞聖人のご生涯とその教えにふれることができる。親鸞聖人のご生涯や足跡が分かる解説書付。 〈東本願寺出版〉



お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店
協賛・出店

テーマ:「未来へ伝え得るもの——先人たちの智慧に学ぶ」

- 第1回 4月26日(金)「記憶から伝承へ——文化が世界の見方を変える」
天台寺門宗総本山 園城寺長史 富谷俊彦氏
(京都テルサ・東館2階セミナー室(地下鉄烏丸線九条駅4番出口から西へ徒歩5分))
- 第2回 5月17日(金)「祇園祭と盆行事——風流文化を軸に両者の共通性を考える」
仏教大学教授 八木 透氏
(京都新聞文化ホール(地下鉄烏丸線丸太町駅丸太町7番出口の階上に直通エレベーター))
- 第3回 9月6日(金)「一隅を照らす——落語家・まるこの仏道修行」
落語家・天台宗道心寺住職 露の団姫氏
(しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分))
- 第4回 10月4日(金)「仏教の音楽曲「天台声明」の調べ」
天台宗三千院門跡門主 小堀光實氏
(しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分))

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業局出版事業部

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

〒601-8004
京都府京都市南区東九条東山王町9番地
TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722
Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

●受講料は1講座1,000円(税込)

招待券プレゼント! 中外日報宗教文化講座へ10名様ご招待。

■応募条件
■応募方法
■締 切

法蔵館書店へ招待券を取りに来られる方。
メール(p@hozokan.co.jp)で表題を「招待券希望」とし、お名前、e-mailアドレスを記しご応募ください。
4月12日23時59分到着分まで。 ※招待券1枚につき全4回ご参加いただけます。
※抽選の上、当選者様にメールにてお知らせいたします。

受賞書籍のご紹介 詳しくは↓



島蘭 進先生……2023 年度朝日賞 受賞!

朝日賞……朝日新聞社、並びに(公益)財団法人朝日新聞文化財団が創設した賞。「日本のさまざまな分野において傑出した業績をあげ、文化、社会の発展、向上に多大な貢献」をした個人または団体を顕彰する。

島蘭 進先生著書

『ポストモダンの新宗教——現代日本の精神状況の底流』 法蔵館文庫 文庫判・352頁・1,320円
ISBN: 978-4-8318-2621-3

『精神世界のゆくえ——宗教からスピリチュアリティへ』 法蔵館文庫 文庫判・528頁・1,650円
ISBN: 978-4-8318-2641-1

共編

『宗教を問う、宗教は問う——コルモスの歴史と現代』 四六判・384頁・2,200円
ISBN: 978-4-8318-7774-1

井川祐寛先生……第 25 回 SOMPO福祉財団奨励賞 受賞!

『近代日本の仏教と福祉——公共性と社会倫理の視点から』

井川裕寛著・A5判・380頁・5,500円・ISBN: 978-4-8318-5578-7

SOMPO福祉財団奨励賞……財団賞には及ばないものの優れた著作であると評価された
特に若手の著者に授与される賞。(原則として大学、研究機関に所属)



法蔵館
春の本まつり

期間…
4月2日(火)~4日(木)

一箱古本市を開催します。様々な書籍が並びますのでこの機会をお見逃しなく!
今後の詳細情報は営業部X(旧Twitter)、facebook等のSNSにて発信いたします。



開催

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(2月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	真宗学講義ノート	田代俊孝講述 児玉法彰筆録 池井勝彦加筆	同朋大学田代客員 教授研究室	1,300円
2	一億三千万人のための『歎異抄』【朝日新書935】	高橋源一郎	朝日新聞出版	891円
3	儀式作法の心得 【新改訂版】	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
4	唯信鈔文意【ちくま学芸文庫 シ-45-1】	親鸞著 阿満利鷹解説	筑摩書房	1,100円
5	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
6	親鸞入門【真宗新書】	一楽 真	東本願寺出版	968円
7	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真講述	真宗佛光寺派	250円
8	舍利弗の物語—阿彌陀經の黙った主役	大窪康充	京都月出版	1,100円
9	岩波 仏教辞典 第三版	中村 元・福永光司・田村芳朗 今野 達・末木文美士編	岩波書店	9,900円
10	生誕160年新装版 清沢満之先生のことば 生誕100年 記念出版	大河内了義・ 佐々木蓮磨編	永田文昌堂	1,100円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートに
お答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、
メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

- ◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。
- ◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料
- ◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など
多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会

検索



法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00
祝 日: 10:30～18:00
(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!

法蔵館文庫

◆方丈記を読む——孤の宇宙へ

【文学／随筆】

荒木 浩著・文庫判・336頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2661-9

災害が続く不安な時代、生きづらさを抱える鴨長明が求めた理想の独居とは。第一人者による新訳と解説で味わう、古典屈指の名随筆。

■目次

はじめに

凡例

序章 『方丈記』概観

第一章 ユク河ノナガレと〈無常〉観のイントロ

第二章 「世の不思議」と「予(われ)」のこと

第三章 私の人生と住まいの記 ほか

ためし読み



◆〈小さき社〉の列島史

【歴史／民俗】

牛山佳幸著・文庫判・336頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2662-6

「村の鎮守」はいかに成立し、変遷を辿ったのか。各地の同名神社群に着目し、現地調査と文献を鍵に、分野の枠を越えた考察を試みる。

■目次

はじめに

第一章 印鑰神事と印鑰社の成立

第二章 早良親王御霊その後

第三章 女人上位の系譜

第四章 「ウナネ」およびウナネ社について ほか

ためし読み



◆増補 天空の玉座——中国古代帝国の朝政と儀礼

【中国史】

渡辺信一郎著・文庫判・384頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2663-3

朝政と会議の理念・構造・空間の分析を通じて権力中枢の構造的特質を明らかにし、中国古代における皇帝専制と帝国支配の実態に迫る。

■目次

はしがき

第一章 中国古代国家の朝政

第二章 国会の構造——中国古代国家の儀礼的秩序

第三章 帝国の構造
——国会儀礼と帝國的秩序 ほか

ためし読み

